



認定NPO法人

富士山測候所を活用する会

【様式1】

夏期観測 2025 研究速報（プロジェクト報告書）

1.氏 名

（和文） 加藤俊吾

（英文） KATO Shungo

2.所 属

（和文） 東京都立大学

（英文） Tokyo Metropolitan University

3.共同研究者氏名・所属

（和文）

（英文）

4.研究テーマ

（和文） 富士山頂における一酸化炭素、オゾン、二酸化硫黄の夏期の長期測定と火山ガスの越冬観測

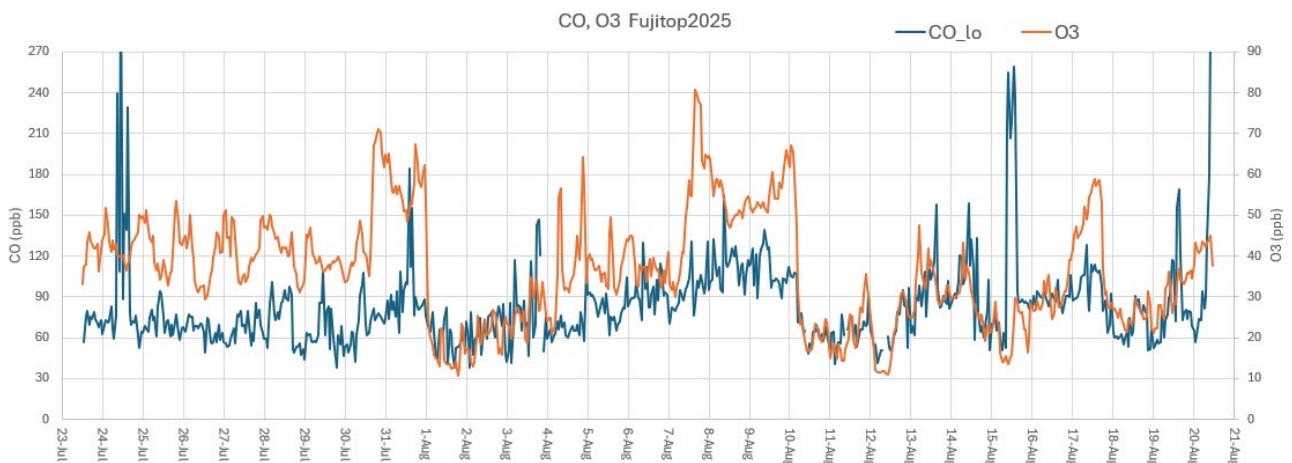
（成果）

富士山頂で一酸化炭素計、オゾン計、二酸化硫黄計を設置し、2025年7月23日から8月20日までの大気測定データを取得した（図）。一酸化炭素とオゾンはおおそ似たような長期的な変動をしており、遠方からの長距離越境汚染でおおよそ説明できると考えられる。この夏は風速塔撤去作業があり日中は発電機を作動されている場合があったので、昼間に一酸化炭素が高めでオゾンが低めになる日が見られている（発電機から放出されるNOによりオゾンが反応で除去されるため）。近傍からの汚染のない山頂での大気組成を見る場合には日中は除いて夜間だけでのデータを使用することが望ましい。二酸化硫黄は8月3日と8月10日に高めの濃度が見られたが、わずか0.5ppb程度の濃度上昇であった。一酸化炭素に同期した変動がみられないため、他の火山ら噴煙の影響をとられていたと考えられる。これまでおこなってきた火山ガスセンサーによる通年観測を引き続きおこなうため、バッテリー交換等の作業を行い、引き続き観測結果をリアルタイムで公開するようにした。

（英文） Long term observation of carbon monoxide, ozone, and sulfur dioxide during summer and volcanic gas monitoring year around at the summit of Mt. Fuji

（Results）

Carbon monoxide, ozone, and sulfur dioxide were measured at the summit of Mt. Fuji during summer in 2025. CO and O3 showed similar concentration variation. Because of power generator usage, CO and O3 seems to be influenced by local emission during daytime. Slightly high SO2 were



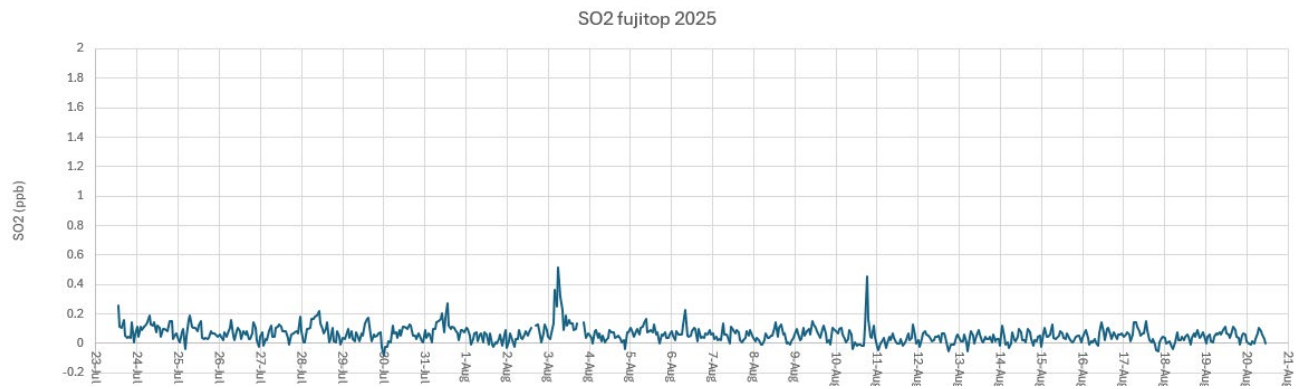
提出先メールアドレス：tyo-ofc@npofuji3776.org



認定NPO法人

富士山測候所を活用する会

only observed on August 3 and 10. Monitoring of volcanic gases using electric gas sensors were conducted and the obtained data the uploaded to the public website.



提出先メールアドレス : tyo-ofc@npofuji3776.org